

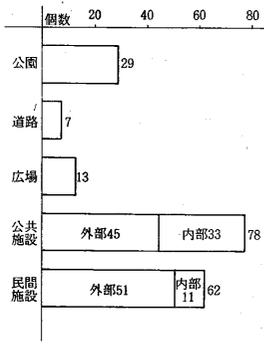
(ウ) 区別設置状況(図-1、2)

分布状況を見ると、中区、西区に集中している。これは横浜の都心部で開港以来の歴史の蓄積があり、公園、道路等の公共施設が整備され、都市が成熟している結果、文化性の高い彫刻類の設置が行われているためである。また、戸塚区が多くなっているのは、「横浜ドリームランド」の二体が含まれていることが原因である。また、ここ数年の間、文化的施設などが各区に建設されるようになり、これに伴ないレリーフ等が増えていく。今後各区の機能が充実していくことにより、市全域に分散化していくものと思われる。

(イ) 設置場所状況(図-3)

都市の中での設置場所は、公的施設に一二七体、民間施設に六二体である。民間施設は外部空間に多く、公共施設では外部空間のほうがホール等の内部空間より若干多く設置されている。都市施設の中では公園が最も多く、道路が最も少ない。

図-3 設置場所状況

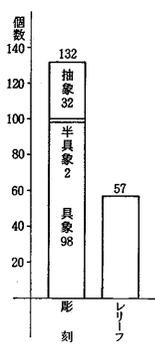


これは、今まで道路建設にあたり機能優先の考え方があったことや、交通の障害物(占有物件)としての扱い方をしていることなどの影響が考えられる。

(ウ) 作品傾向(図-4)

作品の傾向では、まず形態をみると「レリーフ」が五七体、「彫刻」が三二体である。この「レリーフ」の中には、モザイクタイルによる作品が約二〇体含まれており、厳密な意味での「レリーフ」(浮彫)は少ない。「彫刻」をさらに分類すると、「具象」が一〇〇体で「抽象」の約三倍を占めている。これは「抽象」の歴史が比較的浅く、受け入れ側に彫刻IIブロンズ像(具象)といった観念があること、「抽象」は相対的に作品が大きいため、設置場所に制約が生じる場合がある等が主な原因と思われる。

図-4 作品傾向



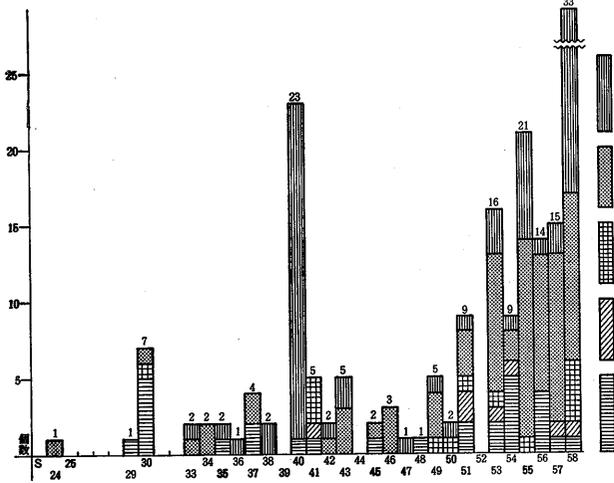
「具象」一八体は裸像となっている。抽象の場合には、モチーフというわけではないが、「波」「帆」「太陽」「翼」をイメージした作品がある。次に素材をみると、具象では、ブロンズII七六体、セメントII一八、石II四、石膏II二で、ブロンズが圧倒的だ、抽象では、石II一七体、ステンレスII九、ブロンズII六、アルミニウム・鉄II各二、セメント・FRP II各一と、多種の素材が使われている。さらに抽象の中には、モーター、風、水で動く彫刻も五体ある。

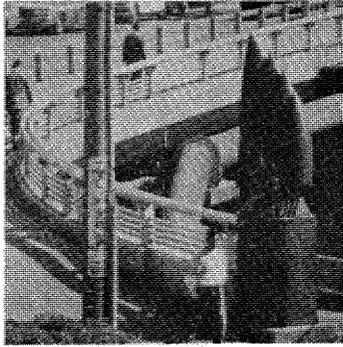
(イ) 設置年代別状況(図-5)

戦後、焼け跡の復興からやと余裕が見え始めた昭和三十年、国体開催を記念して屋外彫刻が多数設置されている。続いて、公園、道路等の基盤整備事業の進行と共に、徐々に増え始め、昭和四十年には、明治百年を記念して「横浜ドリームランド」に偉人像一九体が置かれた。昭和四十一年にはオリンピック記念として置かれ、昭和五十年代に入り公共施設の建設により、建物と附随して設置されるようになった。昭和五十八年には、金沢の団地建設、相鉄ジョイナス一〇周年記念事

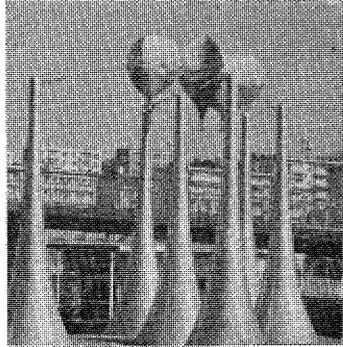
業等による影響が如実に表われている。(ウ) 管理状況 彫刻の設置場所、作品選定と並んで、忘れてならないのが設置後の維持管理である。 彫刻本体をみると、ブロンズには雨だれ、セメントにはキレツや風化、ステンレスと鉄にはサビが目立つ。 これに対して、自然な素材を使った石彫には、これらの状態が見られず、維持管理が比較的楽なようである。最も大変なのは、動く彫刻である。モーターや回

図-5 設置年代別状況





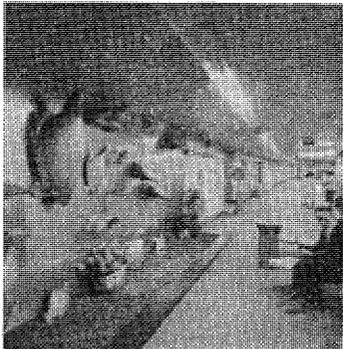
関根伸夫作「未来にむかう帆」



篠田守男作「宇宙」



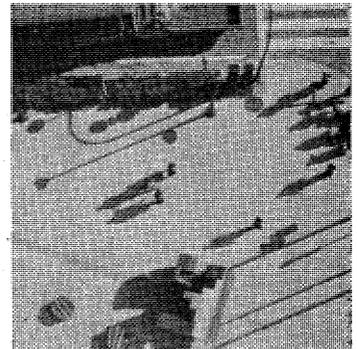
山本正道作「赤い靴はいてた女の子」



栗津潔作「銀の海に銀の亀」



新宮晋作「光の雨」



志水晴児作 無題

転部分を定期的に点検し、常に動く状態を維持しなければならないからである。また、彫刻の周りに自転車や品物が雑然と置かれていたり、ゴミが落ちているのを見かけるが、管理体制の確立が望まれる。

② 横浜市の実例

⑦ 網島彫刻設置事業

昭和五十八年十月八日、網島地区の核店舗前広場において、除幕式が行われ、彫刻家・一色邦彦氏制作の「舞い降りた愛の神話」が、市民のものとなった。

温泉町だった網島は、変貌しつつある。網島モールをめざしながらの再開発の動きは激しく、民間の建築活動、大規模店舗の進出の中、地元の再開発協議会及びモール商店会は、昭和五十五年に地区のシンボルとして、彫刻設置を決定した。以後、地元役員、専門家と市職員をメンバーとする「網島彫刻設置委員会」を組織し、検討を重ね、昭和五十七年十二月、彫刻家にオリジナル作品の制作を依頼した。その後、ネーミングの公募、PRポスターの制作、作家展を経て、除幕式に至り、大成功を収めたのである。

この事業の特徴は、街づくりの一環として地元の人々の手により行われたこと、委員会をもって事業に取り組んだこと、将来をめざしたモールの中央に広場

を作りその場に調和したオリジナルな作品を選択したこと、また、その台座までも周辺にマッチするよう工夫したことなどがあげられる。そして、単に彫刻設置にとどまらず、市民からネーミングの公募を行ったことや、作家展を同時開催したことなどは、市民主体の街づくりを盛り上げる努力の現われとして、高く評価できよう。

⑧ ジョイナスの森彫刻公園の誕生

横浜駅西口にある相鉄ジョイナスの屋上に七種一〇体の彫刻が、昭和五十八年十一月三日に設置された。市内随一の商業中心地西口は、今、快適な人間空間を創り出すため、環境整備事業を進めており、全国でも異例と思われる官民一体の協議会を組織し、街づくりを行っている。五十八年はちょうど、相鉄ジョイナス開業一〇周年にあたり、こうした街づくりの趣旨に沿って彫刻設置事業を行った。

中高層ビルが林立する都市の中で屋上の空間価値は高い。通常、商業ビルの屋上は、ショッピングを楽しむ家族連れのための遊び場になっている。建設当初から相鉄ジョイナスは、屋上庭園を造り、市民に開放してきた。今回、彫刻を設置することにより、新たに文化度を増し、より一層市民に印象強くしたことは、今後の都市の屋上空間のあり方に対して先

駆的な意味を持つものと考え。

ブルデル、マンズーほか横浜にない優れた作品を世界の彫刻から選び設置したことは、観賞する者にとって、喜ばしいことである。

また、庭園と調和した彫刻の配置や、庭木の手入れがゆきとどいていることは、彫刻作品の芸術性だけでなく、周辺環境の重要性を教えている。この事業は、民間企業のものであるが、本市が協力したことにより、良好な成果を得られたものと自負している。

ところで、彫刻設置後すぐに象徴的な事件が起きた。作家の希望により、台座をなくし芝生に直接置いたものが、人為により破損したのである。来訪者が直接手で触れ愛しむことができるように、との配慮が裏目に出たわけであるが、このことはいくつかの問題を提起している。

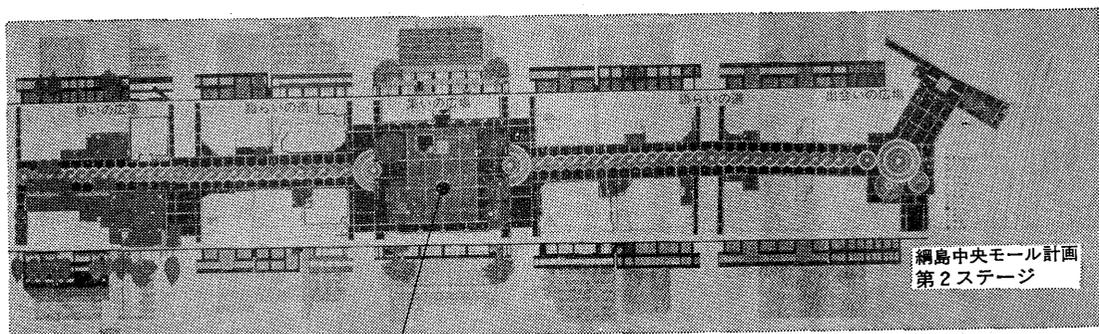
一つには、こうした彫刻の開放を裏付ける維持管理体制と技術の確立の必要性であり、あるいは、開放を可能にする市民モラルの確立の必要性である。

幸いにして、理解ある企業と彫刻家により、破損したハトの彫刻は復元され、再設置された。

七——実態調査からみた今後の

課題

●都市計画との運動 街全体をつくりあ



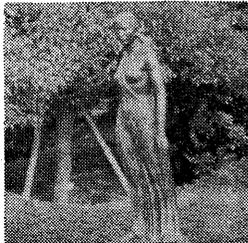
網島中央モール計画
第2ステージ

マリノ・マリーニ作「構成」

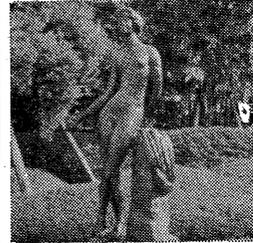


一色邦彦作「舞い降りた夏の神話」

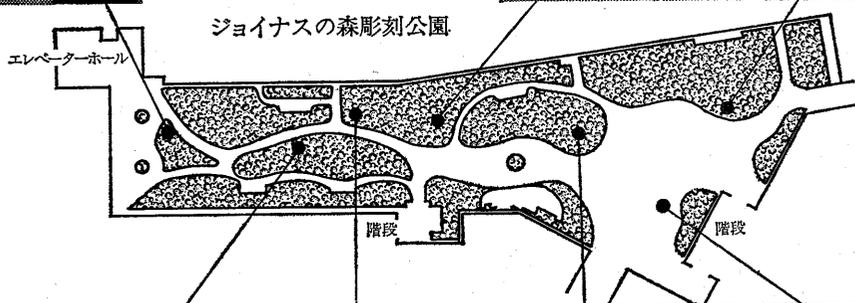
舟越保武作「茉莉花」



アントワヌ・ブルデル作「果実」



ジョイナスの森彫刻公園



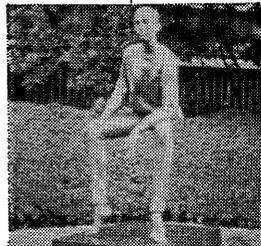
エレベーターホール

階段

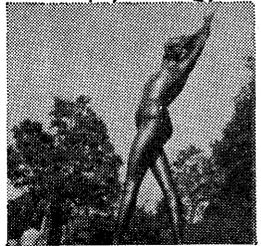
階段



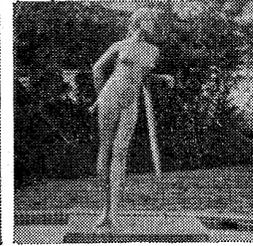
柳原義達作「道標・鳩」



朝倉馨子作「ニケ'83」



エミリオ・グレコ作「水浴の女」

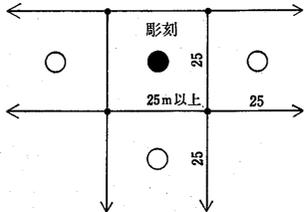
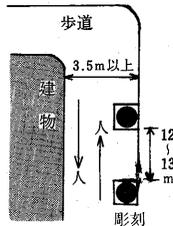


ジャコモ・マンズー作「踊り子」

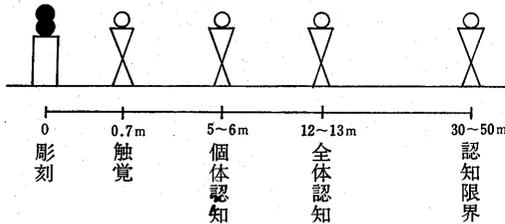
図一六 都市彫刻の設置技術

設置間隔

- 歩道 ○幅員-3.5m以上
○間隔-12~13m以上
- 広場 ○間隔-25m四方以上



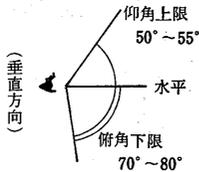
鑑賞距離



視界



- 10°~15° 強い注視視角
- 40° 色彩識別視角
- 30°~60° 許容範囲(最遠~最近)



- 仰角12° 8~12m 全体認知
- " 18° 6~9m 背景と等価
- " 27° 4~6m 個体認知
- " 45° 2~3m 十分な把握

③ 設置技術の確立(図一六) 理想的な環境が与えられても、設置の技術が伴わなければ効果は半減する。人の動線・視線の高さ・角度・鑑賞距離等を想定し、台座設計にも細心の注意を払いたい。また夜間の照明も重要な要素である。

④ 維持・管理 今回の実態調査の中でも、かなり管理の悪い例が見受けられた。汚れ・雨ダレ・サビ・キズ・ヒビ・付着物・破損などである。ここにいり管理とは、彫刻と鑑賞者を切り離す方向を意味しない。屋外彫刻とは、いくつかの例外(モーターで動くもの、鋭利なもの等)を除けば、市民が自由に触れられるものこそ望ましく、それを前提とした管理方法が考えられねばならない。子供のいたずらで簡単に壊れないよう、しっかりと固定するのはもちろん、定期的な点検

・清掃をぜひお願いしたい。

⑤ 市民生活とのつながり 従来、ともすれば屋外彫刻は市民にとって「あらかじめ与えられた」存在であり、日常生活ともかけ離れたものになりがちであった。設置主体を考へても、自治体・企業・ロータリークラブ等が主であり、市民が直接設置に関与することはなかった。

こうした状況を変えたのが、馬車道プロムナードやイセザキモール、綱島地区等に見られる、住民主体の街づくりの環境としての彫刻設置事業である。自らの街の担い手たちによる、このような運動こそ、これからの屋外彫刻設置のひとつの方向を示していると言える。

表一 二 区別の数量

分類については筆者の選択による

項目	鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	戸塚	瀬谷	合計
合計	6	15	29	51	4	9	4	7	3	15	5	9	31	1	189
彫刻	1	9	24	36	1	3	2	5	1	8	5	8	28	—	132
具象	1	8	18	26	1	3	1	4	1	4	5	3	23	—	98
半具象	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
抽象	—	1	5	9	—	—	1	1	—	4	—	5	5	1	32
レリーフ	5	6	5	15	3	6	2	2	2	7	—	1	3	—	57
公園	1	7	4	14	—	1	—	1	—	1	—	—	—	—	29
広場	—	—	2	1	—	2	—	1	1	2	1	3	—	—	13
道路	—	—	—	5	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	7
公共施設	2	1	6	10	1	5	1	1	—	1	3	—	2	—	33
内	—	6	5	9	3	—	3	1	1	8	—	—	3	5	45
外	3	1	2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11
民間施設	—	—	10	7	—	1	—	3	1	1	1	3	24	—	51
内	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

八 ———— これからの展開

本調査は、主として都市の屋外彫刻を対象に実施したものであるが、一方、建築物の内部(二四時間開放されているシティホテルのロビー、市役所、区役所、文化施設等)にある彫刻も、都市的な意味合いにおいては屋外彫刻に類するものと考え、調査対象に加えている。従って、今後これらの彫刻の議論を進めるに

表一 3 調査彫刻一覧

No.	名称	作家	場所	設置年	形態
鶴見区					
1	少女	大槻一二	三ツ池公園	58	具
2	渦潮	矢橋六郎	鶴見駅ビル	40	内
3	饗宴	"	"	40	内
4	無題	藤原吉志子	末吉地区センター内	55	レ
5	生命	井手・山口建築事務所	県婦人相談所内	56	レ
6	釈尊降誕図	井上俊郎(原画)	三松幼稚園	53	内
神奈川区					
7	無題(婦人立像)	中川為延	三ツ沢公園	30	具
8	若い女	井上信道	"	30	具
9	無題(男女立像)	齊藤聖香	"	30	具
10	天かける若人	井上信道	"	30	具
11	平沼さんの像	山脇正邦	"	37	具
12	友情	井上信道	反町公園	45	具
13	はばたけ青春、広げよう友情	日本造形	三ツ沢公園第一レストハウス	56	レ
14	友情	安田周三郎	神之木台青少年会館 外	49	具
15	やさしさとたくましさ	日本造形	神奈川小学校外	55	レ
16	浦島太郎、ゆかりの地	美術教師	浦島小学校	57	レ
17	浅野綜一郎翁肖像	本山白雲(原型) 慶寺丹長(再録)	浅野学園 外	33	具
18	ボクシングの像	井上信道	神奈川大学	38	具
19	知・情・意	一色邦彦	"	55	内
20	愛	井上信道	"	58	内
21	波のリズム	伊藤隆道	相鉄鶴屋町ビル	58	具
西区					
22	井伊掃部頭の銅像	藤田文蔵(原型) 慶寺丹長(再録)	掃部山公園	29	具
23	安らかに眠れ	安田周三郎	野毛山動物園	30	具
24	オリンピック記念碑	堀野秀雄	野毛山公園	41	具
25	不詳(魚を抱く女性像)	不詳	浜松町公園	不詳	具
26	青少年に愛と希望を	井上信道	横浜駅西口駅前広場	49	具
27	無題(婦人座像)	管沼五郎	"	30	具
28	青年の船出	流政之	青少年センター外	37	具
29	"	"	"	37	具
30	友情	安田周三郎	"	46	具
31	"	赤荻賢司	"	54	具
32	太陽にはばたけ	日本造形	東小学校 外	51	レ
33	港の精	柳宗理	地下鉄横浜駅通路	57	レ
34	光の雨	新宮晋	東口地下街 内	56	レ
35	よこはまの詩	井手宣通(原画)	"	56	レ
36	少女	佐藤忠良	"	56	レ
37	太陽とこども	利根山光人(原画)	横浜駅東西連絡自由通路	57	レ
38	波	滝練太郎	西センター内公会堂	57	レ
39	雲	松本繁来	横浜ステーションビル	58	具
40	幸せの泉	和田康男	横浜高島屋 内	53	抽
41	水浴の女	エミリオ・グレコ	横浜高島屋の森彫刻公園	49	具
42	茉莉花	舟越保武	"	54	具
43	ニケ'83	朝倉響子	"	58	具
44	果実	アントワネット・アルデル	"	58	具
45	踊り子	ジャン・コモ・マンス	"	58	具
46	構成	マリノ・マリニ	"	58	半
47	道標・鳩	柳原義達	"	58	具
48	"	"	"	58	具
49	"	"	"	58	具
50	"	"	"	58	具
中区					
51	水の守護神	ドナル・ホード	山下公園	35	具
52	やくそく	加藤顕清	"	37	具
53	赤い靴はいた女の子	山本正道	"	54	具
54	青春の像	井上信道	横浜公園	40	具
55	オーロール	"	港の見える丘公園	48	具
56	シンザン号	三井高義	競馬記念館	51	具
57	トキノミノル号	"	"	51	具
58	瞑想	オーギュスト・ロダン	大通り公園	53	具
59	三つの部分からなるオブジェ	ヘンリー・ムア	"	53	抽
60	まどろみ	ユリー・ワシーリエフ	港の見える丘公園	54	抽
61	鳥を呼ぶ	加藤昭男	根岸森林公園	54	具

あたり、総称として「屋外彫刻」を使用するのは甚だ具合の悪いこととなる。そこで、改めてこれらの総称を「都市彫刻」とすることを提唱したい。「都市彫刻」は、屋内・屋外を問わず市民に開放され、都市活動・都市環境と密接な関係を有するものであり、こうした彫刻の本質的内容を包含する概念である。さて、これからの都市彫刻の展開を考

えるとき、行政の果たし得る役割りはいつい何であらうか。このことを追求するためには全く別のアプローチも必要になると考えるが、とりあえず今回の調査の枠内で一考を加えてみたい。他都市の事例調査によれば、ひとつの

類型として、自治体主導型の彫刻設置事業が浮かびあがってくる。先に述べたとおり、神戸・宇部・長野・仙台など、各々手法は異なるにせよ、基本的には各市の文化・教育施策として位置づけ、自治体による設置事業方式である点で共通している。また八王子市の例は、都市に新しいパフォーマンスを誘発する可能性を秘めている点で、都市彫刻にふさわしい試みと言えるが、これも自治体主導であることに変わりはない。このように、自治体が先頭に立って推進するのも一つの方法であるが、一方では、行政が枠組みを作ってしまうのではなく、むしろ個々の街づくり事業の中

でも自治体の内部に、施策の軸を構築しておくことが必要であらう。彫刻設置をセットし、企業活動や市民運動を自治体が間接的に後押ししていく方策があり得ないだろうか。横浜市は、現状では後者の立場で都市彫刻に対処していると考えられる。仮にこれを「市民主体型」と呼ぶとすれば、この場合の自治体の役割りは何であろうか。一例を掲げれば、建築物の許可基準——ポーンズ制度——の中に彫刻を組み込むと、資金面での助成を行うなど、間接的な誘導助成制度を整備することに

125	地球へのおくりもの	新宮晋	西友二俣川店外	55	抽	62	働く女	オシップ・ザッキン	大通り公園	56	抽
磯子区											
126	夢	北村西望	区総合庁舎前	58	具	63	長谷川潔画伯之碑	立体写真像KK	"	56	レ
127	無題(ヒマヤナ杉)	日本造形	滝頭小学校 外	55	レ	64	心の像	佐藤健次郎	横浜公園	56	具
128	無題	不詳	薬業会館 外	40	レ	65	笹と少年	岩野勇三	羽衣町街庭	54	具
金沢区											
129	てづから	志津雅美	宮ノ前公園	56	具	66	太陽の母子	本郷新	馬車道モール	51	具
130	シーサイドタワー	吉田誠	金沢シーサイドタウンなぎさ団地	58	抽	67	若い女	伊藤忠良	イセザキモール	53	具
131	ゲート	"	"	58	抽	68	新風	小田襄	吉田橋スクエア	53	抽
132	待ちぼうけの塔	関根伸夫	金沢シーサイドタウン記念広場	58	抽	69	光るつばさ	飯田善国	伊勢佐木モール3・4丁目	57	抽
133	母子像	清水多嘉示	平潟ニュータウンなぎさ団地集会所 内	41	具	70	未来にむかう帆	関根伸夫	弁天橋 親柱	51	抽
134	無題	出口和宏	市大体育館 外	43	抽	71	エドモンド・モレル彰徳碑	中野五一	桜木町駅 内	33	レ
135	若い力	三宅多喜男	市大図書館 外	40	抽	72	無題	辻晋堂(原画)	横浜市庁舎 内	34	レ
136	若い力	小田襄	" 図書館 外	40	抽	73	ワーグマン像	流政之	教文センター内	49	半
137	無題	日本造形	瀬ヶ崎小学校外	53	レ	74	黒船	粟津潔	地下鉄関内駅内	51	レ
138	並二の少女	西村潤	並木第二小 外	55	具	75	飛翔	澄川喜一	県庁 外	56	抽
139	いないいないばあ	金子典義	関東学院六浦小学校 外	55	具	76	黒の女 '77	井上麦	" 内	53	抽
140	星座	日本造形	並木第三小 外	56	レ	77	SEISHO	坂井彰夫	" 内	58	具
141	無題	"	並木第四小 外	57	レ	78	SHONAN	"	" 内	58	具
142	"	"	八景小学校 外	57	レ	79	ウナバラ	多田美波	県民ホール 内	49	レ
143	金沢八景ビルアルミレリーフ	池田満寿夫 緩 嘸	金沢八景ビル外	42	レ	80	無題	志水晴児	健康福祉総合センター 外	56	抽
港北区											
144	舞い降りた愛の神話	一色邦彦	綱島中央プラザ	58	具	81	郵便は世界を結ぶ	赤松巖夫	横浜港郵便局 外	30	具
145	冬のこども	佐藤忠良	篠原台青少年の家 内	43	具	82	雲海の陽光	西田明未	職能開発センター 内	58	レ
146	やすらぎ	大村清隆	区総合庁舎 内	53	具	83	へボン博士記念碑	吉村順三	横浜地方合同庁舎 外	24	レ
147	祭(したう)	平野双三郎	" 区長室前内	54	具	84	岡倉天心生誕記念碑	新海竹蔵	開港記念会館外	34	レ
148	鳥人譜	一色邦彦	梅島ビル(編鳥)外	58	具	85	メディチ家のウィーナナス	クレオメネス	横浜関内ビル内	57	具
緑区											
149	宇宙	篠田守男	たまプラーザ駅前広場	41	抽	86	太陽と波	日本造形	間門小学校 外	53	レ
150	風見の鶏	向井良吉	青葉台駅前広場	41	抽	87	仲間	"	富士見中学校外	55	レ
151	掌家族	志水晴児	藤ヶ丘駅前広場	41	抽	88	吉田の心として	"	吉田中学校 外	57	抽
152	無題	不詳	荏田高校 外	53	レ	89	二十一世紀になう子どもたち	垣内治雄	仲尾台中学校外	58	具
153	なかよし	不詳	嶮山小学校 外	55	具	90	無題	中村順平	横浜銀行本店内	35	レ
154	未来へ	吉田誠	すすき野中 外	56	抽	91	三人の少女像	井上信道	三菱信託銀行外	36	具
155	オケトラ	イサム・ノグチ	こどもの国 外	43	抽	92	鳩とともに	園鋸勝三	高風子公園 外	38	具
156	すこやけく	中村喜平	稲毛屋十日市場店 外	51	具	93	結と女	安田周三郎	シルクセンター 外	44	具
157	浴みする女	エミリオ・グレコ	東急たまプラーザ店 外	57	具	94	カオスのめざめ	麻生秀徳	岩崎博物館 内	55	レ
戸塚区											
158	道	難波孫次郎	県警察学校 外	45	具	95	馬	ヴェナンツォ・クロチエッティ	同和火災ビル外	55	具
159	太陽・船・天馬	日本造形	上飯田北小学校外	53	レ	96	無題(馬車)	鹿島建設	" 内	55	レ
160	ハーテ・ビースト	伊藤芳雄	戸塚センター内	53	具	97	海辺の少女	ヴェナンツォ・クロチエッティ	丸井馬車道館外	56	具
161	仔馬	"	" 内	53	レ	98	貝を聴く	桑原巨守	県民共済ビル内	58	具
162	無題	流政之	戸塚斎場 内	55	抽	99	キリスト像	不詳	横浜天主堂跡地 外	58	具
163	円をかく	関根伸夫	庄戸中学校 外	55	抽	100	春のメロディー	中野幸男他	中小企業会館内	58	レ
164	汲沢の鐘	不詳	汲沢高校 外	57	レ	101	樹間の秋	"	" 内	58	レ
165	明治天皇	村田勝四郎	横浜ドリムランド 外	40	具	南区					
166	伊藤博文	高雄自治	"	40	具	102	暁緑	加藤唐九郎	市大病院 外	42	レ
167	大隅重信	西常雄	"	40	具	103	動物と仲良くならう	日本造形	南吉田小学校外	53	レ
168	乃木希典	高雄自治	"	40	具	104	原点	"	南警察署 内	58	レ
169	東郷平八郎	石場清四郎	"	40	具	105	心ゆたかに	垣内治雄	南区総合庁舎 外	58	具
170	西郷隆盛	井上武吉	"	40	具	港南区					
171	原敬	村田勝四郎	"	40	具	106	母子像	井上信道	野庭中央公園	54	具
172	奥村五百子	"	"	40	具	107	母子像	"	野庭団地センター広場	50	具
173	吉田松陰	井上武吉	"	40	具	108	笛吹少年像	"	野庭団地サブセンター広場	52	具
174	汲沢栄一	高雄自治	"	40	具	109	銀の海に銀の亀	粟津潔	地下鉄上大岡駅	46	レ
175	野口英世	石場清四郎	"	40	具	110	さわやか	日本造形	港南地区センター 内	55	レ
176	島崎藤村	井上武吉	"	40	具	111	無題	"	" 内	55	レ
177	福沢諭吉	石場清四郎	"	40	具	112	無題	"	港南スポーツセンター 内	55	レ
178	山県有朋	"	"	40	具	113	働く楽しさ	神成滯	日野高等養護外	57	レ
179	山本五十六	井上武吉	"	40	具	114	女神達	井上寛子	野庭団地センター	50	レ
180	岩倉具視	西常雄	"	40	具	保土ヶ谷区					
181	板垣退助	"	"	40	具	115	力をつくす	垣内治雄	岩井原中学校外	43	抽
182	北白川宮殿下	"	"	40	具	116	のぞみゆたかに	"	市立ろう学校外	51	具
183	大山巖	高雄自治	"	40	具	117	虹の街	西田明未	保土ヶ谷公会堂内	57	レ
184	砂漠の甲虫	番匠宇司	"	53	抽	118	陽光のもとで	神成滯	養護教育センター 外	56	レ
185	松尾国三寿像	西常雄	"	57	具	旭区					
186	道	浦山一雄	グイエー戸塚店外	47	具	119	池畔の乙女	井上信道	こども自然公園	54	具
187	くじゃくの羽根に遊ぶこのは	田辺光彰	横浜リバーサイド戸塚ホーム外	58	抽	120	ながれ	茂木弘行	南万壽ヶ原駅前広場	55	具
188	春の鳥	山口牧生	弥生台ショッピングセンター 外	58	抽	121	伸びる芽	不詳	都岡高校 外	57	レ
瀬谷区											
189	星座のオペラスク	関根伸夫	瀬谷センター外	55	抽	122	無題	日本造形	旭スポーツセンター 内	58	レ
※形態欄 具：具象、半：半具象、抽：抽象、レ：レリーフ											